

第11回 みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクール応募作品一覧



【最優秀賞】

東松島市鳴瀬桜華小学校
6年生

「個性こそがみんなの笑顔！」

漢字が苦手、でも車が好き。絵が好き、算数が好き、折り紙が好き…。などというように、私達にはそれぞれ得意なこと、好きなこと、苦手なことがあります。だからこそ、相手の個性を否定したり、傷つけたりしてはいけません。お互いに自分の個性を尊重し合うことで、みんなが笑顔になると信じています！！

個性こそがみんなの笑顔！！



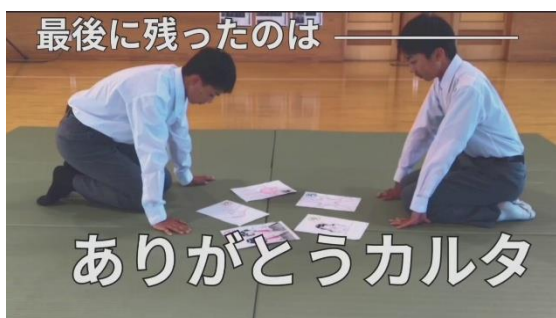
【優秀賞】

栗原市立志波姫小学校
6年生

「いっしょに」

いじめをなくすためには、さまざまなことにみんなで力を合わせて取り組むクラスにすることが大切だと考えています。一人では難しいことでも、仲間と力を合わせれば何でもできる。困っている人がいればみんなで助け合う。そんな雰囲気を作っていこうというメッセージをこの動画の中に込めました。

この動画を見た人たちの心に少しでも、いっしょに取り組むとクラスが明るくなったり、笑顔が増えたりするということが伝わると嬉しいです。



【優秀賞】

名取市立第二中学校
生徒会

「ありがとうカルタに込めた想い」

私達は、いじめを防止するためには、日々のコミュニケーションが大切であると考えました。

『ありがとうカルタ』は、友達やクラスメートと「ありがとう」と言い合うことで、いじめを防止しようという思いから作られた作品です。

「あ」「り」「が」「と」「う」のそれぞれの文字に合わせてカルタを制作し、親しみやすく分かりやすい動画に仕上げることができました。この作品を通して、生徒同士が自然に「ありがとう」と言い合えるそんな温かい学校にしていきたいと思っています。



【優良賞】

七ヶ宿町立七ヶ宿小学校
児童会

「仲良しの花」

私たちは「いじめ0（ゼロ）」を目標に、みんなが仲良く過ごせる動画を考えました。みんなで話し合い、花や動画の流れを工夫した作品にしました。はじめは人をいじめる動画にしようと思いましたが、「いじめ0（ゼロ）」が私たちの願いなので、『仲良しの花』をテーマにしました。仲良しの花とは、みんなの優しさや思いやり、助け合いを栄養として花を咲かせる「ふしぎ」な植物です。

私たちはこれからも「いじめ0（ゼロ）」を目標にして、たくさんの花を咲かせていきたいと思っています。



【優良賞】

石巻市立石巻中学校
いじめ撲滅・対策委員会
ブルースター

「ハピスパ！」

私たちブルースターは、石巻中学校からいじめを撲滅するために活動をしている有志団体です。

幸せな行動は周りの人をも幸せにする『ハッピースパイラル』をテーマに動画を作成しました。見どころは、幸せが連鎖するというのをダンスする人を増やしていき、最終的に全校で表現した部分です。日頃の小さな幸せを大切にしてほしいという願いが込められています。

最後にこの作品を見た人も笑顔で幸せになり、幸せが広がっていけば嬉しいなと思います。



【優良賞】

登米市立新田中学校
生徒会執行部

「Chain of Smiles」

私たちがこの作品で伝えたいのは、「たった一人の笑顔や声かけが、まわりに連鎖し、学校全体を明るくする力を持っている」ということです。たとえ誰かが落ち込んでいたとしても、学校全体がどこか沈んだ雰囲気だったとしても、誰かの優しい一言や笑顔がきっかけとなり、その温かさがまわりに広がっていきます。この動画では、ひとつの笑顔が次の笑顔を生み出し、やがて教室や学校全体に広がっていく様子を描きました。私たちはこの作品を通して、日常の中の小さな「思いやり」が持つ力を、改めて感じてほしいと願っています。



【佳作】

大河原町立大河原南小学校
児童会

「思いをつなげて」

みんなで学校の生活を振り返り、「友達と仲良くする」ことについてじっくり考えました。すると、いつも友達に支えられていることに気が付きました。例えば、「一人で不安なとき」や「失敗したとき」「困っているとき」などです。友達からの一言で何度も元気をもらいました。

だから、今度は自分が元気をあげられるようになりたいと思いました。

このように「相手を思う」ことをみんなでしていけばいじめを防止できると考えました。



【佳作】

富谷市立富谷小学校
児童会

「すげえあいさつで明るい学校を！！」

いじめのない学校にするためには、みんなが安心して過ごせることが大切だと思います。そのための第一歩として、「あいさつ」があります。お互いに顔を合わせたり、明るいあいさつが返ってきたりすると安心できます。また、あいさつをした方もされた方も、いい気持ちになれます。

作品を通して「あいさつ無視キング」のように「あいさつをしない。返さない」ことは簡単ですが、一人ひとりのあいさつへの意識が変われば学校全体が変わっていくということを伝えたいです。

私たちの学校では『すすんで、げんきで、えがおであいさつ』のテーマのもと、あいさつ運動を通して明るいあいさつを広めています。



【佳作】

大和町立小野小学校
計画委員会

「みんなで考えよう

いじめをふせぐ たからばこ」

何か大切なものが入っているイメージのある「たからばこ」。

みなさんは、自分だけの「たからばこ」を持っていることを知っていますか？それは、みなさんの心の中にある、優しさ、思いやり、そして自分らしさがいっぱい詰まった世界に一つだけの宝物のことです。みなさんが笑顔でいるとき、誰かに親切にできたとき、この「たからばこ」はキラキラと輝くはずですよ。そんな一人一人の心の中にある「たからばこ」に目を向けて、CMを撮影しました。

今年度の小野小学校の児童館のキーワードは「支え合う」「イジメなし」「友だちを大切に」です。三つのキーワードを達成するために全校児童に呼び掛けて『いじめをふせぐ たからばこ』を全体で考え、いじめを生まない魅力ある学校をつくっていきます。



【佳作】

柴田町立船迫中学校
生徒会執行部

「おはよう」

学校は様々な活動があって、たくさんの思い出ができます。

そんな学校の1日の始まりは、クラスメイトとの「おはよう」から始まり、「おはよう」があることで1日を楽しく過ごすことができるということを、このCMを通して伝えたいと思い制作しました。

生徒会として全校生徒が安心して楽しめる学校に近づけるようこれからも努力していきたいと思います。



【佳作】

角田市北角田中学校
生徒会

「気付かなかった声」

この動画は、文化祭の準備を通して、「本当の協力とは何か」を問いかける作品です。

クラス全体が笑顔で協力し合っているように見えるその裏で、ひとりの生徒が静かに孤立し、声を届けられずにいます。私たちは表面上の「うまくいっている雰囲気」に安心してしまいがちですが、そこには見えない孤独や葛藤が隠れていることがあります。本当の協力とは、ただ一緒に作業することではありません。相手の表情や声にならない気持ちに気付こうとする姿勢、心に寄り添おうとする思いやりこそが、真の協力につながるのではないのでしょうか。

私たち北角田中学校生徒会のスローガン『百花繚乱』には、それぞれの個性が咲き誇り、互いに認め合うという願いが込められています。一人一人の声に耳を傾けながら心の通い合う本当の協力を広げていけたら、教室にはもっと多くの笑顔が咲くはずです。



【佳作】

宮城教育大学附属中学校
2 学年

「#多様性 with US」

私達は、「人とのかかわり」から、自己を成長させるために次の4つを意識して生活してきました。

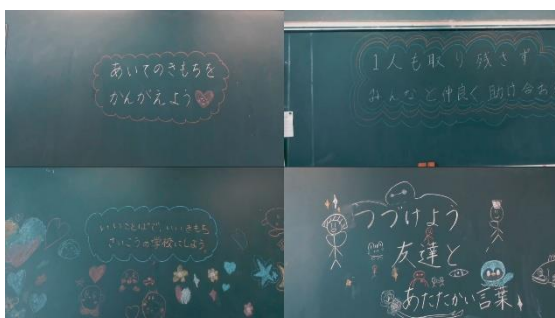
1 つ目、〇〇だからという固定概念を払拭する。

2 つ目、多様性について知り、価値観の違いに気付く。

3 つ目、個性を認め、他を尊重しようとする態度を養う。

4 つ目、考え方の違いに気付き、互いの能力が発揮できれば集団として能力を上げることができる。

今回はこのような機会をいただき、いじめからは何も生まれないというメッセージを宮城の仲間に伝えたいという一心で話し合いを重ね、動画を作成しました。多様性について理解することで自己の成長につながるだけでなく、集団としてのパフォーマンスをあげることができます。今回の作品のバックミュージックもピアノが得意な仲間作曲してもらいました。このようにそれぞれが個性を出すことができれば、どんな困難も乗り越えていけると思っています。



【奨励賞】

角田市立横倉小学校
児童会

「いじめを起こさないために」

各学年で話し合って考えました。1 年生は、小学生になって2 か月、まだまだ分からないことばかりの中、一人ひとりよく考えていじめがなくなるために必要なことを話し合いました。2 年生は去年の経験を生かして、一人ひとり意見を出して考えました。3 年生は、いじめをされた側の気持ちを考えました。4 年生は、誰一人取り残されないことを中心に考えました。5 年生は、いじめがなくなるためには、言葉からの改善が必要だと考えました。6 年生は今だけではなく、永遠に気を付けていくことが重要だと考えました。

横倉小学校の子どもたちの声を聴いてください。



【奨励賞】

大河原町立大河原小学校
児童会

「君もチャレンジ！！」

私たちは今年度の児童会スローガン『チャレンジ～何事にも全力～』を合言葉に、日々の学校生活をがんばっています。また、「ぽかぽか言葉」を使用したコミュニケーションを大切にして、いじめ防止に努めています。

「いじめ防止メッセージ」の1つに「一人ひとりが勇気を持って」という言葉がありました。「チャレンジしようとしているその人の背中を押せるような動画になればいいな」という気持ちをこめて制作しました。今後とも私たちがいじめ防止にチャレンジする姿を全校生徒に見せていきたいと思っています。



【奨励賞】

大河原町立金ヶ瀬小学校
ポプラ児童会

「やっぱり！

楽しくなければ学校じゃない！」

自分たちには自覚がなくても、相手はいじめだと感じることがあります。もし自分がそんな場面に出合ったらどうするか考えてほしいと思い、みんなで話し合っこの動画を作りました。

金ヶ瀬小学校のスローガンは、『楽しくなければ学校じゃない！』です。先輩たちが大切にしてきたこのスローガンについて改めて考えた時、「やっぱりみんなが」楽しくなければ学校じゃないと思いました。僕たちのこの思いが皆さんにも届くと嬉しいです。



【奨励賞】

柴田町立東船岡小学校
あぶくま児童会

「いじめを生まない

笑顔いっぱい学校を目指して」

私たちの学校の児童会のスローガンは『いじめを生まない笑顔いっぱいのかしこく元気な児童会』です。いじめを生まない学校にするために、朝のあいさつ運動に力を入れています。

今回のCMは「いじめって、どこからがいじめなのか」を考えながら作りました。

笑顔いっぱいの学校になるように、これからもがんばっていききたいと思います。



【奨励賞】

名取市立愛島小学校
生活委員会

「かげ口も いじめに入ります！」

かげ口は、いじめと思われていないかもしれませんが、りっぱないじめです。

今回の作品では、足がおそいからといってかげ口を言っていますが、それはよくないことです。そのようなことをやめてほしいこと、それらを願ってこの作品をつくりました。



【奨励賞】

多賀城市立山王小学校
6 学年有志グループ

「笑顔あふれる友情を」

けんかをしていた人たちが仲直りをして、仲良くなるという動画です。相手を傷付けてしまう子も何か辛いことがあり、ストレスを発散するためにやってしまうのではないかと思います。どんな子でも必ず良いところがある、間違いを認め、気持ちを伝え合うことで友情を深めて、笑顔になってほしいと思いました。

この動画作成を通して、いじめは絶対に良くないと思いました。一人ひとりに自分らしく生きる権利があります。差別などをなくして、みんなで仲良く過ごしていけたらと思います。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼小学校
生活安全委員会

「『あい』ある学校！！」

たくさんの『あい』でいじめをなくすこと、助けあうことで人を助けて協力して支え合う力をつける。認めあうことで存在や個性を尊重する力を付ける。思い合うことで互いに尊重し合う相手のことを大切にする力を付ける。友達として仲良く真の友情を作ること。

大切なものは正しい心や友情などさまざまあり、目には見えないどれも大事なことです。それぞれの個性は違っていても良い所はあるはずです。



【奨励賞】

岩沼市立玉浦小学校
児童会

「助け合いの輪をつなぐ、
あたたかい学校を」

失敗してくじけそうになってしまうことは誰にでもあります。その時の声掛け・関わり合いがとても大切です。昨年度、あったか言葉を広げる取り組みをし、言葉の大切さが学校全体に伝わっています。今年度、玉浦小学校では、『あしたを大切に あきらめないで 助け合いの輪をつなぐ 玉浦の子』という前向きなスローガンをたてました。全校児童で励まし合い、寄り添い合いながら助け合っていくことで、心を繋いでいき、誰一人諦めないで安心して取り組むことのできるあたたかい学校を作っていきたいです。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼西小学校
生活委員会

「みんなのよいところ」

わたしたち、生活委員会では毎週あいさつ運動に取り組んだり、ポスター作成やお昼の放送でのよびかけをおこなったりして、いじめのないすてきな学校になるようにがんばっています。

わたしたちは、今回作った動画を見てくださるみなさんに、「みんなのよいところを知れば、もっと仲良くなったり、思いやりをもち合えたりする。」ということに気付いてほしいです。おたがいに思いやりをもてば、きっといじめはなくなると思います。おたがいのよいところを尊敬し合える学校にできるよう、これからの活動もがんばっていきたいと思います。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼南小学校
5年生

「いじめをなくすために、
私たちができること」

5年生のアンケートから、いじめを減らすために思いつく行動はあるけれど、それを行動することは難しいことが分かりました。そこで、5年生86名がいじめの発生前において、いじめを防ぐにはどんなことができるのかを考えました。相手の気持ちを想像すること、頼れる友達を作っておくこと、友達ときちんと話し合うことなど、一人ひとりが日々の行動を振り返り、今後の行動について宣言を書きました。岩沼南小5年生からいじめを減らす、なくすために頑張っていきます。



【奨励賞】

亘理町立長瀬小学校
児童会

「相手の事を考えて言葉を使おう」

「ちょっとした言葉」でも、傷つく人がいるから相手のことを考えて言葉を使ってほしい。「もし傷ついた人がいたら助けよう。」この動画は実際にありそうな場面を考えました。ふだんから気をつけてほしいという思いをこめてつくりました。



【奨励賞】

松島町立松島第一小学校
企画委員会

「ばかじゃん!!」

冗談や悪ふざけで言ったことも、相手にとっては傷ついたり、人のことを信じられなくなったり、抱え込んだりしてしまうことがあるので、相手が傷つかないように言葉を使うことが大切だということを伝えたいと思いました。もし、傷つける言葉を言ってしまったとしても、自分が言ったことを認め、すぐに謝るようにしていきたいと考えました。



【奨励賞】

松島町立松島第二小学校
6年

「みんなで考えよう」

私たちのクラスを、いじめが育たないクラスにするためには、どんなことが必要かみんなでたくさん話し合いました。話し合いの結果「人を傷つけないように、きれいな言葉を使うこと」「困っている人には優しく寄り添ってあげること」「一人ひとりの意見を大事にし、誰に対しても公平な態度をとること」が私たちのクラスに必要なことではないかという意見にまとまりました。でも、この動画を作って一番良かったことは、みんなとたくさん話し合って、いじめについて本気で真剣に考えられたことだと思います。



【奨励賞】

利府町立利府第二小学校
企画運営委員会

「そんなことしていいのかな？」

ついでしてしまった行動がいじめにつながってしまうかもしれません。ですが一度自分の心にそんなことしていいのかなと問いかける大切さを伝えたいと思いました。また、仲間はズレにするよりも仲良くした方が楽しく生活ができることやいじめを見たときに勇気を出して止めることのできるよさを知ってほしいと思いこの作品をつくりました。



【奨励賞】

大和町立落合小学校
わかき児童会

「笑顔の花を咲かせよう」

落合小学校の1年生から6年生までの全校児童が力を合わせ「あたたかい言葉でいじめのない学校をつくりたい」という思いを込めて作成しました。「ありがとう」や「だいじょうぶ？」などのあたたかい言葉は、相手の心をほっとさせ自然と笑顔を広げいきます。そのような言葉こそがいじめをなくす第一歩になると信じています。

私たちの言葉で、たくさんの笑顔の花が咲きほこる学校にしていきます。



【奨励賞】

富谷市立東向陽台小学校
生活委員会

「笑顔広がる東向小」

「あれ？笑っているけど、なんかおかしいな。」休み時間など、学級で楽しそうにじゃれ合っているみんなの様子を何気なく見ていて、そう感じる時がたまにあります。そんなとき、どうすれば良いかのヒントが「いじめ防止メッセージ」にありました。

一人ひとりが勇気をもって自分の意見を伝え合い、「友達を大切にしよう。」と声をかける事が助け合いにもつながり、互いを認めることにもつながると。「だいじょうぶかな。」と思ったら、周囲の大人に伝えることも大事だと伝えたいです。さらに、生活委員会で行っている「あいさつ運動」を通して、みんなが笑顔でつながり安心してすごせる学校にしていきたいと思っています。



【奨励賞】

富谷市立あけの平小学校
6年生

「塵も積もれば・・・」

自分がいじめだと思っていなくても、被害者の人にとっては心が傷ついてしまうことがあります。それを見て見ぬふりをしている人も加害者になってしまいます。「ちりもつもれば山となる」ということわざのように、被害者の心にいやだという気持ちがたまってがまんができなくなってしまうかもしれません。

いじめはどれもだめですが、「なんとなく」という理由でいじめてしまうのは最低ないじめです。「みんな違ってみんないい」という気持ちを大切に、困っている人にはそっと手をさしのべてあげてほしいです。



【奨励賞】

大崎市立古川第二小学校
6年生

「やさしい言葉で」

みなさんはいつもどんな言葉を使っていますか。一度、口から出てしまった言葉は、もう二度ともどすことができません。もしかしたら今までにあなたから出たきた言葉で、誰かが傷ついていたかもしれません。目に見えないものだからこそ、もっともっと大切に、そして強く強く意識して使わなければならないのだと考えました。日本には「言霊」という考え方があるように、言葉には見えない力があります。言葉を受け取った相手だけではなく、発した自分自身も幸せにできる力があります。「絶対にいじめをなくす！」と声に出すことでいじめのない世界を作っていけると信じています。まずはそんな世界への第一歩として、この動画で私たちの思いが伝わることを願っています。



【奨励賞】

大崎市立三本木小学校
みつば児童会Aチーム

「自分の言葉で友達が変わる」

いじめを受けた人も友達の一言で救われるということを知って欲しい。また、いじめをしている人も、この動画を見て、いじめをやめて欲しい。



【奨励賞】

大崎市立三本木小学校
みつば児童会 B チーム

「君の一言で」

誰かに相談したいときや、助けてあげたいときは、勇気を出して声をあげたり、困っている人に声を掛けてあげたりして欲しい。今、友達や同じクラスの人が困っていたら、一言掛けてあげて、自分も相手も気持ちよく毎日を送っていけるといいなと思う。



【奨励賞】

栗原市立栗駒小学校
児童会

「いじめるな

その子も だれかの たからもの」

楽しそうな顔でいじっているつもりでも言われている人は怖くて苦しい思いをしているかもしれない。

みんながいじっているのではなく相手に嫌な思いをさせていることに気付いていても、それを助けられない人がいるかもしれない。

みんなが誰かの宝物だということを忘れずに、思いやりを持って集団で生活ができるようにしなければいけない。



【奨励賞】

栗原市立高清水小学校
6年生

「一人じゃないから だいじょうぶ」

一人で抱え込んでいる人へ、一人じゃないと勇気付けるためにこの動画を作成しました。私たちが一番訴えたいことは、学級みんなでドッチビーをしている姿です。理由は、みんなでする楽しさを伝えたいからです。

最初は、本当にいじめをしているような動画を撮影しようかとしたけど、それではいじめを防止できていないと思い、「一人じゃないよ、一人で抱え込まないでね。」ということを訴えたいと考え、この動画を作成しました。

最後にみんなでジャンプした場面は、未来に向かい、誰も一人にはさせないという意味で撮影しました。



【奨励賞】

気仙沼市立九条小学校
福祉防災委員会

「その行動や言葉で」

私たちが毎日の学校生活で何気なくやっている行動や使う言葉。その一つで人を傷つけることもあり、反対に助けることもできます。それを自覚することで、自分の言葉や行動を見つめ直してほしいと思ってつくりました。そして九条小学校の児童会のスローガンの言葉『一致団結』の気持ちをもっていじめのない、誰もが楽しく過ごせる学校にしていきたいと思っています。



【奨励賞】

気仙沼市立津谷小学校
児童会

「想像しよう」

「転んでしまった友達を見たとき」、「一人でいる子を見たとき」、「物を探している友だちを見たとき」の3つの場面から、人の気持ちを考え、どのような声をかけるかについて考えました。また、この動画を見てくださった方にも「想像しよう」を合言葉に、動画に出てくる人の気持ちについていっしょに考えてほしいと思いつくりました。

この動画がきっかけで、人の気持ちを考え、相手を思った行動をする人が増えてほしいです。



【奨励賞】

気仙沼市立松岩小学校
計画委員会

「いじめはダメ！仲間を大切にしよう！」

「どんな小さいことでも、いやな思いをさせてしまったらそれはいじめになる。」

いじめは絶対にしてはいけないということを伝えるために、みんなにとって身近な「おにごっこ」の場面をテーマに計画委員会の5・6年生が演じました。

作品づくりを通して考えたことは、だれでもいじめの加害者になる可能性があるということです。いじめを見たら知らないふりをせず注意し、大人の人に知らせる事が大事だと考えました。だれか一人の行動だけでいじめがやむ、そして大人だけではなく子供も犯罪になること。いじめをなくすために私たちにできることがたくさんあります。

これからもいじめがない学校をみんなで作っていきたいと思います。



【奨励賞】

南三陸町立志津川小学校
6年生

「いじめを ノックアウト！」

みなさんは、友達にどんな言葉をかけていますか。どんな言葉で会話をしていますか。私たちが発する言葉は、誰かを励ましたり勇気付けたりしますが、反面誰かを傷付けもします。一人ひとりが自分の出す言葉の意味をよく考えることでみんなが楽しく過ごすことができるのではないのでしょうか。

この作品には、いじめがこの世界から「ノックアウト」され、みんなが明るい学校生活を送れるように思いを込めて制作しました。私たちの思いがみなさんに伝わると嬉しいです。



【奨励賞】

南三陸町立伊里前小学校
児童会

「笑顔で仲間とハイタッチ」

今回、伊里前小学校児童会で作ったCMは本年度のスローガン『笑顔で仲間とハイタッチ』をもとにハイタッチすることで友達と触れ合ったり、うれしさを分かち合ったりすることで、いじめを減らしたいという思いが込められています。伊里前小学校では問題が解けたとき、挨拶をするときなど様々な場面でハイタッチをしています。どの場面も仲間と喜びを共有しているからこそ自然と笑顔があふれるのだと思います。そして、このハイタッチを全校で取り組んでいくことでいじめを防ぐ第一歩につながると信じています。



【奨励賞】

白石市立白石中学校
PSCパトロール隊

「ことばの刃」

活動の目的や目標は一人ひとりが持っているもので、否定する権利は誰にもない。そんなメッセージを込めました。尊重することや他者を理解することを大切に、集団の在り方を考え通え続けていきたいと思いません。



【奨励賞】

蔵王町立宮中学校
生徒会

「クシャクシャにされた進路希望調査」

いじめは、被害を受けているときも非常に辛いことですが、同時に、将来の進路や夢、やりたいことを奪っていくということを伝えたく今回の動画を作成しました。被害者の生徒が苦しさで勉強にも集中できず、学校にも通えなくなる事もあるということを知ってほしいです。冒頭に、いじめによりクシャクシャにされた進路希望調査を写すことで、いじめを受ける苦しみと将来が閉ざされる不安を表現しました。そして、そこから勇気を出して救ってくれる友人がいることで、未来への可能性が繋がることを込めてつくりました。



【奨励賞】

大河原町立大河原中学校
生徒会

「#勇気の一言（カケラ）」

現在SNSの普及が進んでいる中、それと同時に、誹謗中傷や匿名質問サービスでのいじめなど深刻な問題を引き起こしています。その中の、より身近で起こりうるSNSから始まってしまいういじめをテーマにし、主人公の気持ちや、勇気を出して助けようとする周囲の行動を動画で再現しました。

SNS中でなく、現実で行動する力にあと押しできるような作品にすることで現実での勇気や優しさも大切であることをこの現代に広めていきたいと考えました。



【奨励賞】

村田町立村田第一中学校
生徒会

「コトバ」

動画を制作していく第一歩として、“いじめ防止サミット”を生徒会で企画しました。サミットの中で出てきたキーワードをヒントに、動画のコンセプトを決めようと考えたからです。思った以上に多くの仲間が参加してくれました。いじめられたことがある人やいじめたことがある人も参加し、そのときの気持ちを発表してくれました。いじめの動画ではあるけれども、決して暗い映像にしたいはありませんでした。今いじめに苦しんでいる人も希望を持てるようなラストにしたいと思いました。今の僕たちにとっては、SNS上のいじめが身近です。大人の目が届かないから気付くといじめに発展し、加速していきます。いつ、誰がいじめられる側、いじめる側になってもおかしくない。でも、どちらも僕たちの大切な仲間なんだということを訴えたいと思い制作しました。



【奨励賞】

川崎町立川崎中学校
生徒会

「思いを言葉に」

本校の生徒会執行部でいじめの問題について「なぜいじめが起こるのか？」をスタートに考えました。たくさん意見が出ましたが、「他の人との考えの違いがあること」や「周りの人が気付いても行動しない」ことだと気付きました。

そこで、『周りの人が自分の考えに自信を持って行動できること』がいじめの防止につながると思い、この動画を制作しました。

この動画を見て、一人でも多くの人が自分の考えに自信を持って、思ったことを言葉にできるようになってほしいと思います。



【奨励賞】

名取市立みどり台中学校
生徒会

「君もヒーロー」

「いじめ」というものは、自分が気付かないだけで周りで起きていたり、気付かないうちに自分もいじめに加担していたりする可能性もある、恐ろしいものです。そんな「いじめ」はおもしろ半分で加担する人や、傍観者がいることで今もどこかの学校で、あるいはネットで増え続けています。少しでも皆さんが学校生活を笑顔で過ごすことができるように、「いじめ」が1つでもなくなるようにと、この作品を作成しました。『誰しものが、誰かのヒーロー』であることを、この作品を通して伝えたいです。



【奨励賞】

多賀城市立多賀城中学校
生徒会

「その言葉 責任持てますか？」

自分ではまったく悪気のない、何気ない一言でも、相手にとっては心に深く傷を残すことがあります。今回の動画ではそのような言葉の影響力について「色水」と「黒い水」を使って表現しました。話し手にとってはごく普通の言葉－「色水」でも、それを受け取った側の心には色が重なり黒く染まってしまうことがあります。

言葉には強い力があります。ときに人を励まし勇気づける一方、相手を苦しめ、取り返しのつかない事態を引き起こす可能性もあります。だからこそ、私たちは普段の言葉づかいや伝え方に責任を持つべきだと思います。この動画にはそうした思いを込めました。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼西中学校
生徒会執行部

「いじめと感じたときの対処法3選
～いい対処法とダメな対処法～」

いじめが起きたとき、重要なのは第三者の行動です。ささいな行動で、被害者の助けになることができたり、加害者をエスカレートさせたりする危険性があります。

この作品を通して、もしいじめを発見してしまったらどんな行動をとるべきなのか、また、この作品が取り上げた3つだけではなく、ほかにもできることがないか、考えてほしいと思います。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼中学校
生徒会

「その一言で」

いじめののもいじめから救うのもたった一言のきっかけから始まります。ですので、私たちは勇気を持っていじめから救うきっかけを作ってほしいと思いました。

言葉には良くも悪くも人を動かし変える力があるのでよく考えて思いやりを持ち、正しく利用してほしいです。最後のセリフは、直接いじめに触れる言葉ではありませんが、勇気を出し、相手を思いやり、自分は味方だと示してくれる大切なきっかけとなる言葉です。何気ない言葉でもきっかけとなるというところが、この動画の重要なポイントとなっています。



【奨励賞】

岩沼市立岩沼北中学校
生徒会

「傷つける言葉より」

悪口、暴言を周りの人が見えないふりをしていた。悪口を言われた本人も一人であることが当たり前に思っていたところに、優しい言葉をかけることにより、決して一人にさせない意思をポップな雰囲気のある動画で訴えた。

この動画を通して、いじめられている人、一人になっている人に少しで手を差し伸べる人が増えてくれると嬉しいです。

傷つける言葉より優しい言葉をかけよう。



【奨励賞】

松島町立松島中学校
生徒会

「踏み出す勇気」

悩んでいる時や困っている時に自分から誰かに助けを求めることは難しいことです。また、悩んでいたりと困っていたりする姿を見て、自ら声をかけに行くことも簡単なことではありません。いじめをなくしていくには、誰もが勇気を出して、一歩を踏み出すことが大切になります。

松島中学校には、心強い仲間がたくさんいます。また、安心して過ごせる環境もあります。今年度の松島中学校の生徒会活動では、生徒同士のつながりを意識した『つながりプロジェクト』として、学級対抗ドッジボール大会や全校伝言クイズ大会を行いました。また、定期考査前には3学年委員が中心となり、縦割り学習会を行いました。学級や学年の枠を超えたつながりを持つことで、誰もが居場所となる学校を目指しています。今回の動画には『勇気ある一歩を踏み出す時に手を差し伸べてくれる仲間や、自分らしさを出せる環境が大切』という思いを込めました。また、最後のシーンで花瓶に生けた4種類の花の花言葉で明るい未来を表現しました。

(ひまわり＝明るい、ピンク色のカーネーション＝温かい心、ヒペリカム＝悲しみは続かない、黄色のスプレーマム＝幸福)



【奨励賞】

利府町立利府中学校
生徒会

「こころの笑顔」

この動画はいじりといじめの境界線についてわかりやすくまとめたものです。今回のいじめ防止動画コンクールに応募するにあたって、生徒会で話し合いを行いました。その結果、いじりといじめの境界線はどこなのだろうという疑問が浮かびました。その疑問を今回の動画の題材にしました。この動画の内容として、個人の自由である髪型についての話にしました。言われたことに対して、相手は表面では笑っていても心の中ではどう思っているのかわからないということをこの動画を見てくださった人に訴えたいと思いました。『互いの個性を尊重しよう～「みんな違ってみんないい」それがいじめを減らす合言葉～』の考えをもとにして作成しました。この動画を見た人が、自分の行動や発言を見つめ直し、あの時の発言は実は相手を傷つけてしまっていたのではないかと思い直してもらえればいいなと思います。



【奨励賞】

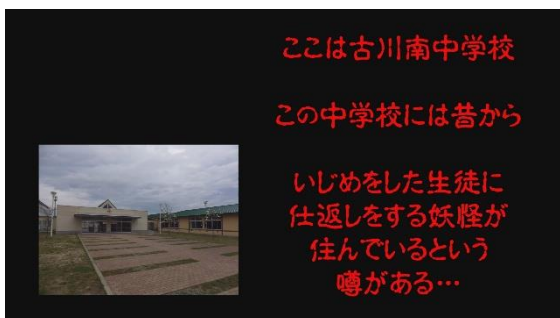
富谷市立日吉台中学校
飛び出す生徒会

「君だけのピースを探しに行こう」

私たちがこの動画を通して伝えたいことは、個性を大事にするということです。

パズルのピースの形が一つ一つ違うように、外見や性格は人それぞれです。しかし、型にはまることができずに苦しむこともあります。そんな中でも、何か一つの小さなきっかけで捉え方を変えることができたなら、自分とピースの形が合う人に出会えたり、人と人との繋がりが広がったりすると思います。また、目の前のものに固執するのではなく、いろいろな形を知ることによって新たな自分の可能性に気付くという前向きなメッセージを込めました。

そして、顔を見合わせてジャンプする最後のシーンは、それぞれの行動に個性が溢れており、見どころの一つです。



【奨励賞】

大崎市立古川南中学校
生徒会執行部

「妖怪は見ている」

著作権の関係で具体的な番組名は出せませんが、僕たちの世代が幼少期に親しんだアニメーションを基にしてストーリーを考えました。自分たちの世代に伝わりやすいと思い、題材として選びました。

伝えたいメッセージは『いじめをしたら、友達も離れていくしきっと誰かが見ている。行いは自分に返ってくる。』です。

また、生徒会執行部が先導し、いじめを防止する有志団体を設立します。この動画の視聴後に団体への加入を呼びかけ、団員が気に付けるバッジのデザインを募集するなど、全校を巻き込んでいじめ防止の意識を高める活動を企画しています。



【奨励賞】

栗原市立栗駒中学校
生徒会

「勇気ある一言」

いじめを受けている人を見ると、止めなきゃと思う。だが止められない。それは何故か。自分が次の言いじめの標的になると思うからである。しかし、そんな考えをされていては止めることができない。行動に移さなきゃいけない。今こそ自分が勇気を出していじめている人に立ち向かい、『あなたたちのやっていることは間違っている。だから今すぐやめるんだ。』と言う。この一言を言うだけで救われる人がいる。この一言を言うだけで人を救うことができる。だからこそいじめを見逃さないでほしい。いじめられている人が助けを求めている。そんな時に勇気を出して止めに行く。こういうことができる人が増えてほしい。



【奨励賞】

石巻市立稲井中学校
生徒会

「STOP！」

いじめ戦隊 稲レンジャー」

面白いから、楽しいからと人をいじめることは私たちもよくあります。しかし、いじり過ぎたり言い過ぎたり、一歩間違えてしまうと、いじめになってしまう。そこで、いじり過ぎを止めることができる人がいるとより楽しく会話ができるのではと思い、作品を制作しました。稲レンジャーのように、一人一人が冷静な正義の心を少しでも持ち、心がモヤモヤしてしまう人が減ればいいなという願いが込められています。



【奨励賞】

石巻市立山下中学校
生徒健全育成ボランティア
シリウス

「個性（たから）」

私たちは授業中の話し合いの場面で誰とも組めず一人になっている子と、その子が一人なことを気にけている二人の子という三人が中心の話を考えました。一人の子は男の子っぽいものが好きな子で、そのことが変（おかしいこと）だと思っているため、二人の仲に入れないのは「自分が変だからだ」と考えています。三人の様子や話しかけた後に注目して見てください。題名の『個性（たから）』は、「男の子っぽいものが好き」などさまざまな個性を大事にしていこう、認め合っていこうということを「たから」という言葉で表しています。この作品からさまざまな個性を大事にし、否定せず認め合うということを多くの人に訴えたいです。



【奨励賞】

石巻市立蛇田中学校
生徒会

「君の【一歩】」

いじめられっ子の「助けて」や、傍観者の「やめよう」「大丈夫？」などと発信することは、とても勇気がいることだと思います。この動画では、いじめは絶対にやめようと促すだけではなく、いじめられっ子や傍観者の言い出しづらい気持ちに寄り添い、一歩踏み出す勇気を持つことが、何かが変わるとき！ということを伝えたいです。



【奨励賞】

気仙沼市立津谷中学校
生徒会

「自分の行動を見直してみよう」

いじめをしてしまっている人は、その人の気持ちを考えずに「嫌だから」「考えが合わないから」といって相手を悲しませてしまっています。しかし、いじめられている人にとって、それが一生心に残る傷になってしまうこともあります。

お互いに気持ちを理解し合って、よくないことをしてしまったら自分から謝り、お互いに楽しい学校生活を送れると良いなと思い、この動画を作りました。



【奨励賞】

気仙沼市立階上中学校
生徒会

「『もしかしたら』を考えて」

何気ない一言や仕草、些細なことが原因で気持ちがすれ違ってしまふことがたくさんあります。

この動画では、あと少し行動できるかどうかというターニングポイントからどのような結末になっていくか、を表現しました。

実生活に重ね合わせて見てもらえたらと思います。

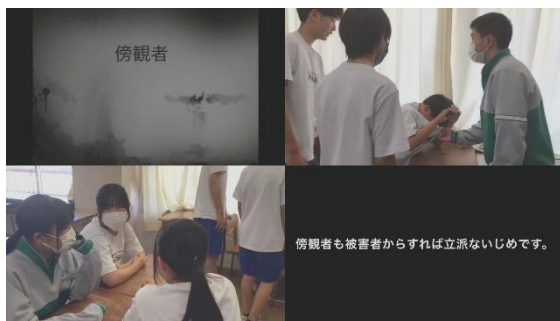


【奨励賞】

気仙沼市立面瀬中学校
生徒会執行部

「あなたの心に ギョレンジャー！！」

この作品は過ごしやすい学校生活を守りたいという思いから作りました。「一人一人が自分の殻を破って勇気を出すこと」「集団で受け入れる雰囲気を作ること」の大切さを伝えたいです。また、実際にヒーローはいないので、この作品を見た人たちが勇気を持って友達に声をかけることで、クラスや学校のより良い雰囲気を作ってほしいと思います。

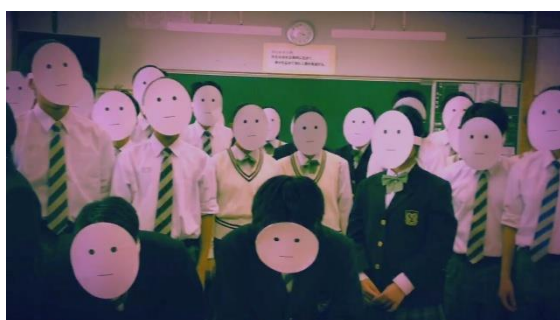


【奨励賞】

気仙沼市立松岩中学校
生徒会

「傍観者」

どうして見て見ぬふりをするのでしょうか。
いじめは被害者や加害者だけではなく、傍観者もいじめになります。「関係ない」「知らない」「やっていない」ではなく、その人のために、今自分に何ができるのかを考え、勇気を出して声をかけてほしいということを伝えたいです。



【奨励賞】

気仙沼市立新月中学校
生徒会・3学年一同

「その言動、大丈夫？」

私たちはいじめ防止動画を制作するにあたって、いじめをなくすために出来ることは何かを考えました。現代社会において情報伝達的手段として広く利用されているSNSですが、SNS社会特有の誹謗中傷がきっかけのいじめが後を絶ちません。そこで私たちはこの動画を通して「無責任なうわさ、個人のプライバシー等の情報を広げないよう、ルールやモラルを守り、SNSの正しい利用を心掛けてほしい」ということを学年全員へ説明し、協力を得て制作しました。



【奨励賞】

気仙沼市立唐桑中学校
2学年

「みんな一人じゃない」

私たちのクラスでは、道徳の時間にいじめについて考えています。考えていく中で、日常生活には思いやりがあっても気付かないうちに誰かを傷つけてしまっていたり、悩ませてしまっていたりすることもあると気付きました。私たちは悩みを誰かに相談することの大切さ、みんなは一人じゃないということを伝えたいと思い動画を作りました。

作品の中に出てくる、悩んでいる人が持っているボールは、その人の悩みやモヤモヤを表現しています。ボールを他の人にパスすることでそのボールがどんどんみんなへと繋がって、いつしか悩みが解決できるようにしていきたいと思います。そのためには周りのみんながそれぞれの悩みに気づき、受け止められる悩みのキャッチャーでいる必要があります。
この動画を見て、いじめについて考える機会になればと思います。



【奨励賞】

南三陸町立志津川中学校
生徒会

「みんな違ってみんないい」

中学生の「僕」が友人を見て、「走るのが速くていいなあ」「ピアノが上手に弾けていいなあ」とうらやましく感じています。

しかし、人にはそれぞれの良いところや得意なこと、苦手なことがあるものです。「僕」は友人の励ましの言葉から、「自分にも良いところがあるんだ」と気が付きます。自分と他の人と比べることが良い、悪いではありませんが、自分のことを認めてあげることが大切です。

私たちが通う「学校」もそれぞれの個性を持った人が集まっているから面白いのではないのでしょうか。全員が同じ見た目、同じ考えだったらきっと面白くありません。

「みんな違ってみんないい」、互いのことを認め、受け入れていこうということを伝えたいと思います。



【奨励賞】

仙台市立北仙台中学校
2年生代表

「笑顔が咲く」

動画を通して私たちが伝えたいことは、いじめをしてしまったらみんなの笑顔が減ってしまうけど、勇気を出していじめを止めたり、いじめられてしまった人に声をかけてみたりすることで、自分や相手の笑顔が増えるということです。

このことを伝えるために工夫したことは、「良い場面と悪い場面」をつくることと「笑顔を花に見立てた」という事です。良い場面と悪い場面をつくる事で、良い場面の「良さ」、悪い場面の「悪さ」を引き立て合い、分かりやすく伝えられたらいいと思いました。そして「笑顔は自分たちでつくり、増やせるもの」という事を分かってもらえるように笑顔を花に見立てました。花の色にも意味を込めていて、黄色には「希望」「幸福」などの意味があり、「明るい」「温かい」イメージがあることから『笑顔の花』というのを強調できると思いました。

この動画を通していじめがなくなり、「笑顔」があふれる未来になれば良いと思います。